

令和 8 年度 就職先調査の実施報告（看護学部看護学科）

1. 調査名・目的

1) 調査名：「令和 8 年度 仙台青葉学院大学看護学部看護学科 就職先調査報告」

2) 調査目的

- (1) 本学卒業生有能力・資質に関する就職先からの評価
- (2) 本学のカリキュラムや教育手法の見直し・工夫等に活用

2. 調査対象・方法等

1) 対象者：本短期大学看護学科を令和 7 年 3 月に卒業し、就職した施設の直属の上司または管理者

対象施設：47 対象者：77 名

2) 調査方法：Google Forms を用いた WEB 上での質問紙調査

3) 調査期間：令和 8 年 5 月 21 日～7 月 6 日

4) 調査内容

(1) 調査項目

本学科のディプロマ・ポリシーと学士課程共通の学修成果である指針を参考に「知識」「コミュニケーション」「数量的スキル」「情報リテラシー」「論理的思考力」「問題解決能力」「自己管理能力」「チームワーク・リーダーシップ」「倫理観」「生涯学習力」「統合的能力」について作成した 26 項目。

(2) 回答方法

「5：とてもそう思う」「4：ややそう思う」「3：どちらともいえない」「2：あまりそう思わない」「1：そう思わない」の 5 段階。本学卒業生有能力・資質について、本学以外の他の教育機関卒業生と比較する相対評価とし、卒業生が複数在籍の場合には個別の評価を求めた。

3. 結果

1) 回答は 47 件（77 名中）、回収率は 61.0%。（昨年度 33 件、回収率 46.4%）

2) 項目別結果（次ページのグラフ参照）。

- ・ 26 項目の平均：3.4（昨年度 3.4）
- ・ 3.5 以上の項目：7 項目
- ・ 4.0 以上の項目：倫理観「個人情報保護や守秘義務を遵守することができる」(4.2)
- ・ 3.0 未満の項目：3.0 未満はないが、数量的スキル「報告・連絡・相談に際してデータを使って説明できる」、情報リテラシー「必要な資料をデータベースや文献・図書から検索し活用できる」がともに 3.0 であった。

4. 考察・教育内容への反映

- ・ 26 項目の平均は 3.4 と昨年度と同じであり、他の教育機関卒業生と同程度の評価と考えられる。
- ・ 3.0 未満の評価項目はなく、平均値からも乖離する項目はなかった。
- ・ 倫理観 3 項目は昨年同様良好な評価を得ており、科目履修等を通した倫理観育成の効果と考える。
- ・ 自由記載欄に「個人差」の指摘があった。学生の個性に合わせた教育が必要と思われる。

卒業生の能力・資質の評価 2026年度(2025年3月卒業生)

